

平成24年 鳥取市政10大ニュース

順位	項目	説明
1	鳥取市庁舎整備に関する住民投票条例が制定され、初の住民投票を実施！その後、その結果に関して議論が続く	2月の定例会市議会において、鳥取市庁舎整備に関する住民投票条例が可決され、5月20日に住民投票が行われた。住民投票の結果は、2つの選択肢のうち、「現本庁舎の耐震改修及び一部増築に賛成」が47,292票、「旧市立病院跡地への新築移転に賛成」が30,721票となった。 この結果を受け、市議会では新たに「鳥取市庁舎耐震改修等に関する調査特別委員会」を設置し議論を進めた。
2	世界初「鳥取砂丘 砂の美術館」オープン！ 第5期展示「砂で世界旅行・イギリス」を開催し、入場者数が目標の50万人達成	4月14日、世界初となる全天候型の砂像展示専門の美術館『鳥取砂丘 砂の美術館』が砂像のまち鳥取市に誕生。記念すべき第5期展示のテーマは「砂で世界旅行・イギリス」。世界10カ国、15名の砂像彫刻家により、ウェストミンスターをはじめイギリスの壮大で美しい歴史的建造物や大英帝国繁栄の足跡を砂で再現した。砂の美術館は、2006年に第1期をスタートさせて以来、来場者150万人を突破した。
3	鳥取市最大企業の三洋電機CE株式会社46年に渡る会社経営に幕。事業再編により社員数大幅減となる	4月1日、鳥取市の最大企業である三洋電機CE(株)(旧鳥取三洋電機株式会社)は、三洋電機(株)に吸収合併され、三洋電機の一事業部門「CEビジネスユニット」となった。前身の鳥取三洋電機(株)が設立した1966年(昭和41年)7月から続いた半世紀近くの会社経営に幕を下ろした。
4	鳥取環境大学が公立大学としてスタート！定員を上回る入学者を迎える	全国初となる市と県による公立大学法人の共同設立により、平成24年4月1日から公立鳥取環境大学がスタート。山陰地方初の経営学部を設置し、環境学部との2学部体制とした。今年は、定員の276人を上回る296人の入学者を迎えた。
5	「エンジン01文化戦略会議 オープンカレッジin鳥取」盛大に開催！	3月23日からの3日間、日本の第一線で活躍する文化人143人を迎え、シンポジウムや講座、ミニコンサートなど94のセミナーを実施した。入場者数は20,900人にのぼり、エンジン01講師と市民が一体となる心に残る素晴らしい文化交流となった。
6	まんが王国建国の年、谷ロジロー氏特別座談会をはじめ、多くの漫画事業で盛り上がる！来場者数のべ72,986人に達する	「まんが王国とっとり」の取組みに合わせ、鳥取市でも年間を通じて、漫画を活かした事業が実施された。谷ロジロー原画展、仏映画「遥かな町へ」の日本初公開、鳥取市ゆかりの漫画家をゲストに迎えた鳥取市マンガフォーラムを行ったほか、「安彦良和原画展」、「るろうに剣心映画公開記念 仁風閣ロケ写真展」、「里中満智子作品展」など多彩なイベントを開催した。
7	魅力的で充実した支援制度を活用し、7社の企業誘致を果たす！1,000人を超える雇用を創出	賃貸型工場設置補助など企業に魅力的な充実した制度を効果的に活用し、7社の企業誘致を果たした。特に、(株)ジェーシービー(400人)、ヤマト運輸(株)・ヤマトコンタクトサービス(株)(250人)、(株)フロンティア ファクトリー(100人)、アロイ工業(株)(120人)など、大幅な雇用が見込まれる企業の進出が決まり、既に昨年の雇用者数(10社で417人)の2.4倍を超える1,015人もの雇用が計画されている。
8	ご当地グルメの祭典「2012近畿・中国・四国B-1グランプリ inTOTTORI」が大盛況！	ご当地グルメの祭典「2012近畿・中国・四国B-1グランプリ in TOTTORI」を6月9日・10日鳥取城周辺で開催し、2日間で11万7千人の来場があった。当日は、地域の特色ある「食」を通して、“まちなか”を元気にしていこう！という目的のもと、色々なご当地グルメ団体が会場に集結し、地域づくりへの情熱と“マチ自慢”を競い合った。
9	「鳥取民藝美術館」と「有隣荘」が国登録有形文化財へ。鳥取城跡や青谷上寺地遺跡で新たな進展も！	8月13日、吉田璋也の設計による鉄筋コンクリート造の「鳥取民藝美術館」が国の登録有形文化財として登録され、9月21日には「有隣荘」が登録文化財原簿へ登録の答申が行われた。 また、史跡においては、鳥取城跡の整備事業として江戸時代後期に築かれた国内唯一の球面石垣を往時の姿に復元するとともに、青谷上寺地遺跡では、古代山陰道と考えられる道路遺構を発見した。
10	人が集まり、駅前再生のシンボルとなる魅力的な空間の創出をめざし、駅前太平線大屋根設置工事に着手！	平成22年度に策定した「鳥取駅前太平線再生プロジェクト基本計画」をもとに、雨天時でも人が集まることが出来るとともに、駅前再生のシンボルとなる魅力的な空間の創出をめざし、大屋根の設置工事に着手した。平成25年7月には駅前に新しい空間が誕生する。